

平成 28 年度
(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会
第 5 回理事会

日時 平成 28 年 9 月 12 日 (火)

午後 3 時 15 分～午後 5 時 30 分

場所 (一社) 静岡県臨床衛生検査技師会事務所

平成 28 年度（一社）静岡県臨床衛生検査技師会 第 5 回理事会

日 時 : 平成 28 年 9 月 12 日(金) 午後 3 時 15 分～午後 5 時 30 分

場 所 : (一社)静岡県臨床衛生検査技師会事務所

出席者 : 現在役員数 20 名(理事 18 名・監事 2 名)

山口浩司 菌田明広 杉澤きよ美
都築農夫志 直田健太郎 須田達也
勝又隆子 羽切政仁 松本誠司 遠藤美佳
山田哲司 佐原卓夫
伊藤喜章 市川千津子 鈴木真紀子(書記)
三宅和秀(監事) 藤原誠(監事)

(17 名/全 20 名中 うち理事 15 名/全 18 名中) *敬称略

欠席者 : 清水憲雄 川口貴子 中島和浩

議長及び議事録署名人選出

議 長 山口浩司
議事録記名人 杉澤きよ美 菌田明広
三宅和秀(監事) 藤原誠(監事)

議題

1. 議事録について
2. 常務理事会報告
3. 全国学会関係 (P10～18)
4. イベント関係 (P19～23)
5. 日臨技関係 (P24～25)
6. 各部報告・審議事項
 - ・ 学術部 (P26～)
 - ・ 広報部 (P34～)
 - ・ 組織部 (P36～)
 - ・ 会計部 (P48～)
7. 西部支部会 (P54～)
8. その他
 - ・ 会員の異動
 - ・ 予定表
 - ・ その他

次回理事会 10 月 24 日(火) 書記:羽切理事

議題

1. 議事録について [伊藤事務局長]

- ・清水副会長が当理事会を欠席のため、次回に2つの議事録の確認を行うことが報告された。

2. 常務理事会報告

1) 県学会・総会反省点 [山口会長]

- ・県学会の反省をまとめ、中部支部の改善策も記入してある。確認してください。
→次回担当の清水副会長、直田支部長に申し送るよう要請した。

2) 検査と健康展について [山口会長]

- ・11月6日(日)にアピタ静岡店にて開催決定。
- ・8時から9時に協和医科が機器、ディスタンスが物品などを搬入予定→依頼済み
- ・集合時間：中部地区理事9時
中部地区以外の理事9時45分
- ・1日の流れ
 - 9時50分：会長挨拶
 - 10時～10時半：各ブースの準備
 - 10時半から15時：展示ブースの開催
 - *3階の控室で昼食を30分交代で取る。
- ・開設ブースは4ブース、ブース内容と担当者は以下の通り（◎リーダー、○サブリーダー）。
 - ①頸動脈エコー：◎市川 ○伊藤 直田
 - ②体成分分析：◎松本 ○都築 羽切 藤原 鈴木 須田
 - ③顕微鏡ならびにPC：◎川口 ○遠藤 杉澤 山田 勝又
 - ④検査技師の仕事と静脈の可視化：◎三宅 佐原 中島 藺田 *敬称略
 - *全体の責任者は中島理事、会長はフリー。清水理事欠席。
- ・持ち物は各自白衣。ビブスは事務局が準備する。
- ・駐車場はアピタ駐車場が無料。
- ・レイアウトについて（資料の補足と変更点等）
 - アピタの入り口側とスーパーの間に設置。
 - 頸動脈エコーは座って行う。エコーは2台でパーティションは無しとする。
 - 静脈可視化は検査のお仕事に含めて、顕微鏡のブースを広く設ける。
- ・11月11日は検査の日であり、メディアメッセージがある年であっても静岡県も単独で実施するようにしていきたい。
- ・初めての試みとして全理事が参加するようにしたい。
→今後は、伊豆市健康福祉祭り（東部）、減塩プロジェクト（西部）検査と健康展（中部）という方向で検討したい。
- ・頸動脈エコーは実務委員を依頼予定。

→支部長から施設に連絡をする。中部支部の施設 2 施設 2 名ずつを検討中。

3) ホームページについて〔山口会長〕

- ・ホームページ委員会を設置
⇒理事会にて承認
- ・メール審議について
→一般社団法人法で理事会決議の省略も可能。静臨技定款にも掲載がある。ただし、理事全員の同意の意思表示が必要である。今後はそれに則って行っていくこととする。
→メール審議の発議から各理事の承認までの手続きは配布資料に則る。また、その後開催される理事会の議事録に、メール審議で承認された事項を記載する。
- ・今後の議案
→部局長に提案し、配布資料に則る。議事録はその旨メール審議で決定されたことも載せる必要がある。
→期日までに返信をもらう必要がある。

ホームページにおける提案事項〔都築・直田常務理事〕

- ・以下の 5 つの事項について承認を頂きたい（配布資料参照）。
 - ①HP 切り替え時期は 10 月 1 日より開始。
 - ②技師会からのお願いの文改訂
 - ③いきいき生活応援便掲載の廃止。静岡県健康福祉課は関連団体リンクに掲載する。
 - ④トップページバナーを画面の左下に配置する。
 - ⑤賛助会員のバナーは現在 1 社のみ掲載。バランスを考え下部掲載することに変更。以降は検討が必要。
- ⇒5 つの件について理事会で承認。
- ・表紙の写真や、細かいバナーの配置については、ホームページ委員会に一任してほしい。
- ⇒理事会で承認。

その他

- ・書類は PDF になっている。現在エクセルやワードに切り替えるための作業中。
→書式変更を防ぐために PDF となっているが、書式の変更はしないで下さいという注意書きのもとに作業を進めていく予定。
- ・生涯教育履修通知書の発行申請書は削除。
→日臨技 HP でも同様のことが出来るため。
- ・共済ネットの中に、四季倶楽部のバナーを載せた。利用できる福利厚生があるので確認して欲しい。
- ・傷害保険など、業務中に機器を壊した場合も保険が適用される場合があります。利用出来るものがあるため確認をして下さい。

変更点について

- ・ 静臨技ニュースは前期分だけ掲載する。
- ・ 会長挨拶に顔写真の掲載をした。
- ・ 役員紹介もこれまでは副会長までだったが、幹事まで掲載をした。
→ 支部役員も載せたらどうかという意見も出た。将来的に会員名簿をなくすことも検討としてあげていくこととなった。

新ホームページにおけるリニューアルについて〔羽切理事〕

- ・ 学術部門 HP 作成手順と、今後の進め方について。
 - ① 学術部門が管理していく為のマニュアルをディスタンスに依頼している。
→ 各学術部門のマニュアルを作成する。作成後、HP 委員会、藪田副会長、清水副会長に確認後、各理事にメール承認を取り、全員の承諾を得たら都築・直田理事から静臨技の HP にリンクしてもらう。
 - ② 統一されたレイアウトを確認。
→ 各学術部門の管理となる。作成後 HP より自由に見られるようになる。更新作業も学術部門が行い、適宜ホームページ委員会が確認する。
→ 学術部門担当者が決まっている。ディスタンスがそれぞれに指導に行ってくれる。またはマニュアルを見て進める形となる。
- ・ 更新日を明記したらどうかとの提案が伊藤事務局長からあった。
→ ホームページ委員会の適宜検証のタイミングが分からないので、学術部門 HP の写真の下に更新日を入れることを検討することになった。
- ・ メール審議などをしなくても、細かい内容などはホームページ委員会に任せることが確認された
- ・ 精度管理委員会 HP について
→ JCCLS 共用基準範囲を入れるように検討。
→ 清水副会長に確認をしたらどうか。不必要な部分が多いと思うので割愛できる。
- ・ ホームページ委員会の組織図について。
→ 検討の必要がある。組織部主導で、伊藤事務局長と検討して進めていく。

4) 検体採取講習会（配布資料 P9～）

- ・ 配布資料 P9 資料 7-9 参照。静岡県の受講率が 25.9% と非常に低い。
- ・ 12 月の名古屋での検体採取講習会では、静岡が実務委員を担当する。
→ 市川会計部長、杉澤副会長、静岡日赤栗原元理事に行ってもらおう予定。
山口会長も準備と一日目の開催までを、手伝いに行く予定。
⇒ 承認されました。
- ・ 次回の実務委員は清水副会長と男性理事 2 名を検討中。

3. 全国学会関係〔伊藤事務局長〕

1) 実務委員について (P9 の次)

- ・配布資料に全国学会のメンバーの素案がある。前任理事である梶間氏、榛葉氏にも入ってもらう。
 - 梶間氏、榛葉氏の承諾後、決議を行う。
- ・抄録の査読委員は学術部門全員に依頼予定。
- ・神戸は理事イコール実行委員。千葉はそうではない。実務委員としては点数がつかない。
 - 理事で行うのがいいのではないか (点数がつかないのは申し訳ないため)。

2) 全国学会 (神戸) の報告 (P15~18)

- ・総合受付において 10 時頃非常に込み合った。最後尾にイベント会社が対応していた。
 - 事前登録の名札は印刷されたものが用意されていた。当日受け付けは署名にて対応していた。
- ・当日のランチは 5 分で完売。スマホ対応がある。
- ・懇親会参加者は名札に赤いシールが貼ってあった。
- ・コングレバッグは無地で各色あり、学会デザインの缶バッチが付けてあった。
 - 学会終了後も使うことが出来る。
- ・缶バッチのデザインについて。
 - 今後検討が必要 (次回開催の千葉は自分たちでデザインを考えたとのこと)
- ・広報部が公式記録を取っていた。
- ・スマホ用のアンケート回収を行っていた。
- ・機器展示は 2 か所あった。
- ・高額を出した会社の控室は広かった。
- ・PC センター、クロークは 3 か所で対応していた。
- ・来年のパンフレットがあった。千葉での全国学会のアピールがあった。
 - 千葉の時に家康君を借りることが出来ればよいのでは (中には理事が入る)。
- ・スキルアップセミナーが開催された。
 - 学術部門が担当する。認定検査技師や日臨技生涯教育研修の点数取得になるため、多くの参加者を目指す。
- ・神戸の学会には、次回開催の千葉が 20 名くらいで来ていた。
 - 千葉の際には、静臨技は限定数で行くことになる。スキルアップセミナーが重要であるため、学術部門長が行くのが良いという意見があった。

3) 学会テーマ (P10~14)

- ・学会テーマの候補提出は今月いっぱい締め切り。候補のテーマについて伊藤事務局長にメールで連絡することが確認された。

4. イベント関係 (P19～)

- 1) 伊豆市社会福祉大会 (P19～21) [都築常務理事]
10月29日(土) 修善寺生きいきプラザにて開催
9月27日(火) に事前説明会あり
→説明会には都築理事、藤原理事、杉澤副会長が参加予定。
→当日はパネル展示を行う。10月24日の理事会時に健康展と重ならないものを借用予定。

- 2) 減塩・低カロリープロジェクト2016 (P22～23) [伊藤事務局長]
 - ・11月27日(日) 開催予定。
 - ・毎年24～25名で対応。基本的には西部中心での対応。
 - ・10月26日に開催に関する会議がある。
→山口会長、伊藤事務局長、直田常務理事が参加予定。
 - ・学生の数を先に出して、理事の人数、実務委員の人数を決める。
→今月中に伊藤事務局長に参加表明をすること。

5. 日臨技関係 (P24～25) [伊藤事務局長]

- ・宮島会長が参議院議員に就任したため、代表理事副会長の横地理事が会長代行を行う。
- ・配布資料P25の様に全国役員名簿があります。
→全国の役員を知ることが出来るため、必要な人は磯部さんに請求する。

6. 各部報告・審議事項

1) 学術部 [藺田副会長 (清水副会長の代理)]

- ①静岡日赤病院にて11月19日(土) 日本染色体遺伝子検査学会が開催される。8月19日付で後援依頼を承認。
→翌日開催のIS015189に関する研修会の計画については、共催ではなく静岡臨技主催で行う事になった。
- ②静岡県医師会臨床検査精度管理委員会の開催について。(P28～29)
→11月23日に成績検討会がある。理事で出席できない方は清水副会長に連絡をして下さい。
- ③第55回中部支部医学検査学会一般演題座長候補推薦について
→配布資料P27の候補者を選出した。
- ④登録衛生検査所立ち入り検査
→資料参照 (P27)
- ⑤静岡県臨床細胞学会「平成28年度 第2回 東部症例検討会」が静岡臨技に対して後援を希望している。
⇒異議なし。承認された。
- ⑥学術部門ホームページについて
 - ・羽切理事より、議題2の中で報告あり。

2) 広報部 (P34～) [藺田副会長]

- ・ 静臨技ニュースについて、折を 200 部から 250 部に増刷し、1700 冊から 1750 冊にしたい。
→承認された。
- ・ 会報連載について (P35 参照)、輪番表が提出された。各自確認することとなった。
- ・ 精度管理報告会では、前回部数が足りなかったため 50 部程度増刷の必要があるという意見が出た。
→清水副会長に確認する。
- ・ P32 の静岡県細胞学会は、共催にしないと点数が 10 点になってしまう。
→後援の承認は出さずに現状のまま共催とする。

3) 組織部 [杉澤副会長] (P36～)

資料により説明

①各種表彰の候補者推薦について

- ・ 第 45 回医療功労賞候補者の推薦について
→対象者無しで報告する。

②会員名簿について

- ・ 会員名簿納品完了した。
- ・ 個人会員には今年は 196 名中 24 名必要ない旨の連絡があったためそれ以外に配布した。
→今年度は個人会員へは来年度以降も必要な方のみ返信をいただくようにする。
- ・ 賛助会員 51 社 (CS 薬品が統合により退会したため)
- ・ 学術部門で HP 委員会を入れたほうがいいのか (素案)
→来年度の会報に載せていきたい。各県ではどうしているかの調査を行い、意見を伺いたい。

③会員の異動について

- ・ 年度末退会予定会員が 2 名、3 月末退会希望者が 5 名。

④求人情報掲載

- ・ 掲載依頼が 12 件、削除依頼が 3 件あった。
- ・ 今年度から窓口は佐原理事。

⑤技師連盟関連、活動報告 [直田常務理事]

- ・ 役員の選出があり、代表は杉山代表となった。
- ・ 今後の活動方針について。
→1 口 1000 円から、1 口 5000 円に上げたいという提案があったが、根拠がなく持ち越しとなった。
- ・ 静岡県の 8 月締めでの加入者数について
→81 名 81 口
→加入者数を上げていかないといけない。各支部の活動として加入者数を増やすべ

きであるとのこと。

⑥60年史資料収集について〔山口会長〕

- ・65周年史を作るため、静臨技50周年史や日臨技の60周年史を参考にして作業を進めるよう組織部に要請した。

4) 会計部 (P49～)〔伊藤事務局長〕

資料により説明

- ・以前は学術も広報も会計を作っていた。全国学会も控え、市川会計部長1名での会計担当は大変であることから、学術・精度管理関連を担当する補助役を置きたい。(P49参照)

→学術の会計報告を他の部が確認する形が良いことから組織部からの選出であり、中部支部の市川会計部長の補佐役であるため中部支部の遠藤理事にお願いしたい。

⇒理事会で承認。

7. 西部支部会 (P54～)〔直田常務理事〕

- ・西部支部会10月7日に開催
- ・現在23名が参加予定。

8. その他 (P55～)〔伊藤事務局長〕

1) 会員異動

資料により説明 (P77～78)

- ・平成28年7、8月

新(再)入会14名、退会1名、施設変更9名、氏名変更5名、責任者・連絡責任者変更3施設、施設名所変更1施設、部署名変更1施設、新規施設登録1施設あった。

⇒理事会にて承認。

2) 予定表

- ・平成28年8月、9月、10月の行事予定を提示。
- ・10月24日理事会開催。

⇒全国学会テーマ、検査と健康展が主たる議題となる予定である。

3) その他

①事務局より

資料により説明 (P55～)〔伊藤事務局長〕

- ・メールで、クリニック開院予定で、検査技師が行う仕事において検査技師がいなくても実施は可能かという問い合わせがあった。

→医師責任で実施可能と回答。

- ・プラザヴェルデ(沼津にある研修施設)について、静岡県文化・観光部観光交流局観光政策課の方が来られた。新しい会場なので、学会などで使用して欲しいとのこと。

→中部圏支部学会は、5年後に静岡に回ってくる。この施設の利用も検討できる。

- ・第34回日本染色体遺伝子検査学会の後援依頼（P58～59 参照）
→後援の許可を出している。
- ・医師会のパーティーに出たお礼状が届いている。（P62 参照）
- ・災害の震災申請書について。
→ホームページにも掲載あり。
- ・塩谷議員のパーティーがある。（P63 参照）。
→会長がプライベートで出席予定である。
- ・病院協会の会員名簿が届いた。事務所に保管している。
- ・富山県臨床検査技師会 60 周年記念誌が届いた。事務所に保管している。
- ・静岡県立総合病院にて「県民の日講演会」が開催される。
- ・滋賀医科大学付属病院より臨床検査技師の募集があった。
- ・パソコンウイルスソフトの支払いが完了した。
- ・会員が亡くなった際、本来であれば会長が参列すべきであるが、情報が入ってこない。
→そのような際には近しい人から連絡をお願いしたい。
- ・6月18日に事務所のマンションの定期総会が行われた。
→報告書は事務所で保管している。

②その他

- ・静岡県医療救護計画の文書に、災害時の供給医薬品として臨床検査試薬が品目として記載されていない。必要な品目として考慮されていないようであれば静岡県健康福祉部に検討を要請する必要があり今後の課題と考えている。[山口会長]

以上

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

議長 山口 浩司

氏名 _____ 印

議事録記名人

杉澤きよ美 菌田明広 三宅和秀 藤原誠

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印